



JAゆうべつ町広報誌



KAGAYAKU TSUBASA


輝く翼

湧別町の空に飛ぶ白鳥を見た時、私は素敵だなと感動しました。「JA ゆうべつ町」が飛躍する事を願い、群れをつくり大空に羽ばたく真っ白な白鳥の様に、気持ちを新たに一致団結して前へ大きく前進する願いを込めてデザインのイメージをしました。そして皆さんが愛読するにあたって、優しく温かい気持ちになれます様にと虹の橋を架けました。先頭を飛ぶ真ん中の白鳥にはリーダーと言う意味があり、冠を付けてみました。



第29回 JA北海道大会
北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」



第29回 JA北海道大会
北海道550万人と共に創る
「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」




第29回JA北海道大会 (H30.11.13)

第29回 J A北海道大会

北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」



▲北海道大会の様子

J Aグループ北海道は、11月13日、第29回 J A北海道大会を札幌コンベクションセンターで開催し、当組合から役員、酪農部会、畑作部会、青年部、女性部合わせて15名出席し、全道から2,000人を超える参加となりました。

J Aグループ北海道の目指す農業・農村の姿（将来ビジョン）



今回の J A 大会では、前回の大会で決議した将来のビジョンや基本目標・実践方策（農業所得20%増大、サポーター550万人づくりなど）は、改革プランの実践期間や一連の農協改革の動きが継続中であることを踏まえて継承しつつ、重要性を増す「協同組合の価値と実践」を新たな決議事項として加えることとしました。

災害からの復旧・復興と持続的可能な北海道農業の確立に向けた特別決議（抜粋）

J Aグループ北海道は、先人から受け継いだ農業・組織の基盤のもと、協同活動へのさらなる結集を図り、一日も早い災害からの復旧・復興を実現するとともに、持続的可能な北海道農業の確立に向けて総力を挙げて取り組み、わが国の食料供給基地としての使命を果たしていく以上、決議する。

平成30年11月13日

第29回 J A北海道大会

「いただきます」の

言葉の意味とは

～湧別町農民連盟～

湧別町農民連盟は、11月19日に「映画で見る食の社会見学」と題し、映画『ぼくが命をいただいた3日間』の上映会を開催しました。映画『ぼくが命をいただいた3日間』は日本の伝統的な食文化をテーマに、人が生きるということの本質を問う「食育エンターテインメント」作品です。

上映会では、来場者に北見の菓子店「ティンカーベル」の地元素材のみを使った無添加ケーキが配布され、食のありがたみ感じながらの映画鑑賞となり、来場者は皆「いただきます」の意味を再認識した映画上映会となりましたことでしょうか。



これまで。そして、これからの青年部活動を考える

「JA ゆうべつ町青年部」

JA ゆうべつ町青年部は、11月8日から9日にかけて開催された「第48回オホーツクJA青年部研修大会」及び「第23回オホーツクJA青年部活動実績発表大会」に参加し、今年度の活動経過内容を発表致しました。

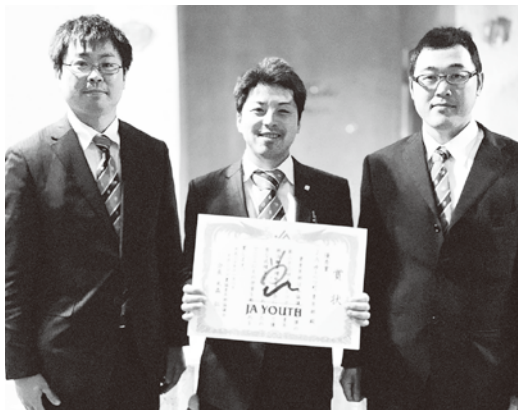
今年度のJA ゆうべつ町青年部の活動経過の報告としては、佐久間光紀副部長より主に地元の小学生たちを対象とした食育活動について、続いて越智大輔部長より今年の6月に行われた農村ホームステイの受入実績について報告を行いました。



▲グループディスカッションの様子

また、今大会中には今後の青年部活動について「どうあるべきか、どうしたいか」をテーマにグループディスカッションが行われ、部員たちは悩みながらも討議を重ね、用意された模造紙に今後のJA ゆうべつ町青年部のあり方を色鮮やかに描きました。

なお、今回の活動報告について佐久間光紀副部長が発表した部員による食育活動の実績が協議会に評価され優秀賞を受賞致しました。今後のJA ゆうべつ町青年部の更なる発展に向けて大きな一歩を進んだ大会となったことでしょうか。



▲入賞おめでとう

第26回定期総会兼温泉保養

「本所地区年金友の会」

湧別地区年金友の会は、11月4日から6日の3日間、「塩別つるる温泉」にて定期総会兼温泉保養を開催しました。

総会は、斉藤安雄会長の挨拶から始まり、端場栄吉氏が議長となり、提出された議案が全件可決され無事に総会が終了しました。

また、この総会において役員改選が行われ、女性役員3名が誕生しました。「年金友の会」の活動が活性化されるように対応して参りますので、会員の方につきましては今後とも多数の参加をお願い致します。



▲花札大会の様子

夜の懇親会では、ビンゴゲーム、カラオケを行い一日目の楽しい宴が終了しました。

二日目は、曇り空ではありませんでしたが、パークゴルフに汗を流しながらプレーを楽しみました。また、奇跡にも藤本省吾氏がホールインワンを達成しました。

室内では、ゲーム大会を行い和気あいあいと楽しみ、また、恒例の花札大会も行い気合の入った札のやり取りがあり白熱した勝負となっていました。

各々が一日の汗を温泉で流した後、二日目の懇親会を開催し、日中の行った競技の表彰式、カラオケ、ビンゴ大会を行い最後の日を大いに満喫しました。

会員の皆様におかれましては、これから寒い季節となりますのでお体に気をつけお過ごし下さい。また、来年も元気で温泉保養に参加されることを楽しみにしています。

てん菜の収穫及び出荷作業が終了する

10月20日より甜菜の出荷作業が開始され、11月22日をもちまして全てのてん菜耕作者の元から北海道糖業(株)北見製糖所への運搬が終了しました。

今年度は、種子の発芽不良やペーパーポットの一部製品不良に加えて、日照不足や低温長雨により、初期生育が遅れたことから平年を下回る収量となっております。糖分については平均的に高い状況ではありますが、他作物同様平年を下回る状況となりました。また、運搬車両の不足により、日程の長期化とはなりません。また、例年よりも暖かい気温であったことから、無事出荷終了となりました。



▲てん菜出荷の様子

感謝を込めて

～八十歳記念品贈呈～

11月12日、これまで湧別町の農業振興と発展にご尽力いただいた、満八十歳の方々に感謝の気持ちを込めて個別に訪問し記念品の贈呈を行いました。

記念品の贈呈者は次の通りです。
(敬称略)

内山 律子

(福島農事組合)

市川 浩

(東農事組合)

島田 辰雄

(芭露第一農事組合)

井上 きよ子

(新上芭露農事組合)

加藤 良子

(東芭露農事組合)



続・今こそJA

第9回 待ったなしの農協法改正

J Aグループ北海道が改革プランの策定を進めている間にも農協改革の波は押し寄せていました。規制改革会議の答申に危機感をもった自民党議員らは、官邸、規制改革会議、農水省と調整を行い平成26年6月に「与党とりまとめ」を策定しました。急進的な内容は若干修正されたものの、抜本見直しを迫る内容は残る形となつてしまひ、平成27年の通常国会に農協法の見直しを行う旨が明記されました。

J AグループとしてもJ A全中が同年11月に自己改革プランを策定し、政府・与党と折衝を重ねた結果、最終的に27年2月、国が示した「法制度等の骨格案」をJ Aグループとして受け入れることとなりました。農協法改正案は平成27年6月30日に衆議院通過、8月28日に参議院を通過して可決成立し、平成28年4月1日より改正農協法が施行されました。

【改正農協法の概要（抜粋）】

- (1) 中央会制度を廃止し、J Aの監査は公認会計士監査を義務付ける。
- (2) J Aの総合事業を事業毎に株式会社や生協、一般社団法人等に円滑に転換できるようにする。
- (3) 全農は株式会社に円滑に転換できるようにする。農林中金、全共連は検討事項とする。
- (4) J Aの理事の過半数は認定農業者、販売の実務者とする。
- (5) 目的規定を「農業所得の増大に最大限の配慮」に見直す。
- (6) 准組合員の事業利用規制は、5年間の組合員実態調査の上で結論を得る。

准組合員制度の事業利用規制は先送りとなりましたが、中央会制度は廃止となり、来年の9月末までにJ A全中は一般社団法人、北海道府県中央会は連合会に移行する形となったのです。



畜産

今年のサイレージ用とうもろこしの作柄について

① 今年の気象経過と生育概要

今年の春先は晴天に恵まれ、融雪期は平年より6～8日早まりました。

その後、5月上旬は平年を上回る降雨がありました。中旬からは平年を上回る気温、日照時間で経過したため、は種期は平年より4日早まり出芽も順調でした。

その後の気温は6月中旬、7月中旬は平年をかなり下回り、8月も平年を下回りました。

日照時間も6月中旬から7月上旬及び8月中旬が平年を下回り、生育不良及び子実の登熟が遅れました。

また、6月上旬と7月中旬には100mlを超える降水量となり、9月は降雨がない日が続きました。排水性の悪いほ場では湿害や肥料切れによる生育不良や下葉の枯れ上がりなどの影響がみられました。(表1)

表1 H30年気象(5/1～9/30)の各種算値と融雪期

	降水量(mm)	日照時間(時間)	積算気温(℃)	融雪期(月日)
遠軽町	654(441)	760(796)	2,345(2,383)	4.4(4.12)
佐呂間町	627(460)	776(840)	2,301(2,346)	4.2(4.10)
湧別町	523(415)	801(882)	2,282(2,280)	4.3(4.9)

表2 H30年のサイレージ用とうもろこしの収量(kg/10a)と黄熟期

	生収量	乾物収量	TDN収量	黄熟期(月日)
遠軽町	4,335(5,514)	1,187(1,572)	834(1,120)	10.5(9.29)
佐呂間町	4,119(5,016)	1,022(1,416)	698(897)	9.29(9.24)
湧別町	4,109(5,703)	1,006(1,313)	695(917)	10.6(9.30)

注) ○ カッコ内は平年値 調査: 普及センター、関係機関による

② 今年の作柄と病害虫の発生状況
今年の収量は全体に丈が短く、茎が細く雌穂の充実が悪かったことから生収量、乾物収量、TDN収量ともに平年を大幅に下回りました。黄熟期は平年に比べ5～6日遅れ、多くのほ場において糊熟期での収穫を余儀なくされました。(表2)

畑作

大豆栽培について

3町で栽培される畑作物の面積比率では、麦類、てん菜が大きく占めており、短期輪作や麦類の連作が多いことが特徴としてあげられます。近年、大豆を含む豆類の導入は、畑作における輪作体系を維持する重要性に加え、良質で安全性の高い道産大豆の安定供給を望む消費者や実需者からの期待も高まっています。平成29年から佐呂間町と湧別町で新規に大豆栽培を導入する生産者が増えてきました。

培を本年検証中です。この方法は、これまでの株間を狭くする密植方法とは異なり畦間を狭める方法で、初期生育の競合を緩和しながら、空間を茎葉で早く閉鎖することで、雑草の生育を抑制して中耕除草を省略します。また、密植により主茎型の草姿になることで最下着莢節位置が高まり(3cm程度)コンバイン収穫適性に優れる等の効果が見られました。

3. 輪作の幅を広げる

大豆収穫前(落葉前・9月中旬頃)からブロキヤスによる秋小麦のは種(間作)が行えるなど、輪作の幅が広がるのが期待できます。今後に向けて、新たな大豆栽培者の増加を期待しています。

1. 大豆作付けの注意点

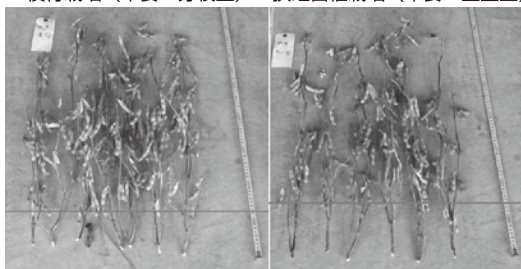
大豆を作付けするには、①排水対策②雑草防除(適期除草剤散布とカルチ除草の励行)③適期は種④適正栽植本数の確保⑤適期収穫、主にこの5点が重要となります。

このどれか一つでも欠けると、生育ムラなどをおこし、収量・品質に大きな影響を与えます。

2. 現在検証中の栽培方法

湧別町(上湧別地区)では、畦幅を標準畦幅(60～66cm)の約半分(33cm)に狭めた狭畦幅密植栽培

慣行栽培(草姿 分枝型) 狭畦密植栽培(草姿 主茎型)



▲草姿の違い

農協 お知らせ 版

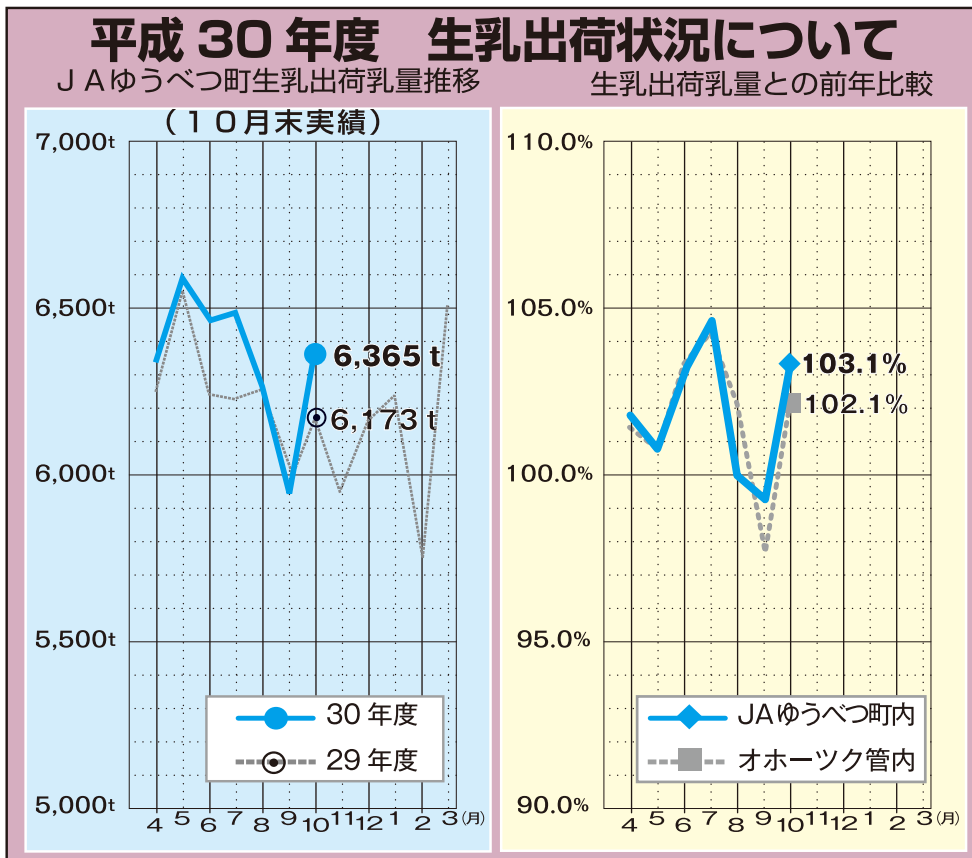
平成30年度 第9回理事会
10月22日開催

報告事項

- ①酪農生産部会役員会について
- ②北海道畜産公社取締役会について
- ③よつ葉乳業取締役会について
- ④道酪畜対・生乳受託販売委員会について
- ⑤オホーツク農協組合長会議について
- ⑥オホーツク農協酪畜対について
- ⑦化製場畜魂慰霊祭・農協連畜産事業運営委員会について
- ⑧オホーツク農協畑作青果対策委員会について
- ⑨収穫感謝祭について
- ⑩湧別町バイオガス事業推進協議会設立総会について
- ⑪自由金利型定期貯金の受入れと貯金残高の推移について
- ⑫組合員の営農実績について

- ⑬平成30年9月末生乳生産実績について
- ⑭監事監査の指摘事項に対する回答について
- ⑮高齢者に対する記念品の贈呈について
- ⑯営農懇談会の開催について
- ⑰JA北海道大会への参加にCSN

- ①平成30年度決算見込みについて



その先にある、まだ見ぬ世界へ。

新型ジムニー 誕生

キーレスプッシュスタートシステムやフルオートエアコンなど装備も充実

XL 4WD 5MT (機種:JXLU(-J))

メーカー希望小売価格

1,582,000円 (税込)

※メーカー希望小売価格はスペアタイヤ・ジャッキ付で、保険料・税金(消費税除く)・輸出等に要する費用および付属品価格を含みません。メーカー希望小売価格は参考価格です。詳しくはお問い合わせください。別途リサイクル料金が必要となります。